

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和5年4月18日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立新池中学校 第3学年、全生徒

実施生徒数（ 134人 ）

4. 調査の内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

- (ア) 小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。
- (イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- (ウ) 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問紙調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問紙調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

(2) 学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・全国正答率との差は、大きくはないがほとんどの設問でやや下回る。
- ・全国と比べて上位層が少ない。
- ・観点や問題形式ごとに見ても、全国正答率の差はほとんど見られない。

平均正答率（本校 68／泉佐野市 63／大阪府 68／全国 69.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【情報の扱いに関する事項】</p> <p>1ニ インターネットの記事を読んで気づいた点として適切なものを選択する。(57.8/65.1)</p> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>1三 相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する。(66.7/76.6)</p>	<p>【書くこと】</p> <p>3一 レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する。(48.9/54.3)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか。	50.8	61.4	○	10.6
国語の勉強は大切だと思いますか。	93.4	92.4		1.0
国語の授業内容はよくわかりますか。	83.3	80.0		3.3
国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか。	85.2	88.7		3.5
国語の授業で、自分の考えが伝わるよう文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか。	58.0	63.9	◇	5.9

○生徒が国語の授業を「わかりやすい」「社会に出たときに役に立つ」と肯定的に評価している。

○「国語の勉強が好きだ」と解答した生徒の割合は全国と比べて10ポイント以上下回っている。

○生徒の国語の学びは授業内でとどまってしまっており、自主的に国語の学びの時間を確保することができていないと考えられる。

○必要な情報を資料から引用することに苦手意識を感じている生徒が多い。その結果が1二の問題の正答率が低いという結果につながっていると考えられる。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

- ・ 平均正答率は全国と比べて2ポイント下回る結果であった。
- ・ 設問ごとに全国より正答率が大きく上回るものと、大きく下回るものがあり、得意な単元と苦手な単元がはっきりしている。
- ・ 全国の平均正答数の分布と比べて、下位層と上位層が少なく、中間層が多い。

平均正答率（本校 49／泉佐野市 44／大阪府 50／全国 51.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>【関数】 4 yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ。(50.8/42.8)</p> <p>8(3) グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する。(34.3/42.8)</p> <p>【数と式】 6(2) はじめの数にける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する。(52.2/58.8)</p>	<p>【データの活用】 5 女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数をもとめる。(40.3/46.1)</p> <p>7(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求める (72.4/65.7)</p> <p>【図形】 9(2) 二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く (29.1/37.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	58.7	56.7		2.0
数学の勉強は大切だと思いますか	86.2	85.0		1.2
数学の授業の内容はよくわかりますか	79.0	73.3	◇	5.7
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	73.2	75.3		1.9

○「数学の授業内容はよくわかる」など、数学の授業に対して肯定的に捉えている。

○全国の平均正答率が高い問題ではさらに高い正答率を示しており、全国の平均正答率が低い問題ではさらに低い正答率を示していることから、基本的な問題を理解している生徒が多い一方で、発展的な問題に対して粘り強く解答しようとする生徒が少ないと考えられる。

○問の文章が長くなるほど、無回答率が増えているところからも粘り強さの課題が見られている。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（英語）

1. 全体の傾向

- ・全体の平均正答率は全国と比べて4ポイント上回った。
- ・正答数の分布をみると、上位層、中間層が多い。
- ・特に知識・技能や読むことにおいて得意な生徒が多く、正答率が全国より大きく上回った。
平均正答率（本校 49／泉佐野市 43／大阪府 45／全国 45.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

英語	特徴がみられた設問	
<p>【聞くこと】</p> <p>1(2) 道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する。(70.9/64.4)</p> <p>2 忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する。(53.7/61.1)</p> <p>【書くこと】</p> <p>8(2) ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く。(26.9/19.5)</p> <p>9(1)② 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして会話が成り立つように英文を完成させる。(32.1/20.9)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>5(2) 事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する。(75.4/64.5)</p> <p>6 友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する。(42.5/35.9)</p> <p>7(1) 図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する。(71.6/59.8)</p> <p>7(2) 図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する。(40.3/34.7)</p> <p>8(1) ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する。(50.0/56.1)</p>	

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
英語の勉強は好きですか	54.4	51.9		2.5
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業についたりしたいと思いますか。	47.9	36.9	○	11.0
1, 2年生の時に受けた授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。	85.6	78.2	◇	7.4
1, 2年生の時に受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝えあう活動が行われていたと思いますか	72.4	63.8	◇	8.6

○英語の学習と授業について肯定的にとらえている。英語の授業ではプレゼンや、即興での会話など様々な活動が行われていたと回答している。

○英語の学習が役に立つと考え、英語のスキルを活かしていきたいと考えている生徒の多さが正答率の高さにつながっていると考えられる。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない)

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	睡眠時間にばらつきがあり、朝余裕をもって朝食を食べている生徒の割合が少なくなっている。 家庭での読書の機会が減っている。	朝食を毎日食べていますか。〈84.1/91.2〉 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。〈63.8/78.0〉 読書は好きですか。〈55.8/66.0〉
【家庭学習の様子】	学校以外での勉強時間は全国を上回っている。	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 〈45.7/33.7〉 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 〈25.3/18.3〉
【学校での学習の様子】	学校の授業ではICT機器を活用して学習している。またICT機器を使うことが効果的だと実感している。 授業では発表を行う機会がよくあり、発表を効果的に行うために工夫をしている。 学習の中での話し合い活動を肯定的に取られており、学習に効果的であると考えている。	1, 2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。〈96.4/61.1〉 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。 〈76.8/62.1〉 授業で学んだことを、他の学習で生かしていますか 〈74.7/69.9〉 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか 〈76.8/71.6〉

本校の取組

◎これまでの取組

- ・過去4年間の「確かな学びを育む学校づくり」での実践と2年前のスマートスクール推進事業での実践を土台とし、授業改善に取り組んでいる。
- ・今年度は「わかったら楽しい、できたら嬉しい～みんなでつくる全員参加の授業～」を学力向上の柱として、全生徒が授業に参加することができること、参加することで喜びや楽しみを見出せることを目指して授業づくりを行っている。
- ・スマートスクール推進事業での実践をもとに、1日に1回はICT機器を用いた授業が行われている。また授業以外の委員会活動などでもICT機器を活用しており、生徒にとってICT機器は身近なものであり、効果的に学習をしたり、自分の意見を交流したりすることに役立っている。
- ・1年生の英語科と3年生の数学科で少人数習熟度別指導を行っている。
- ・全学年で朝の学習を実施している。
- ・「マイノート」を利用して、テスト前の学習計画を自主的に行うことを推奨している。
- ・テスト前に補充学習を行っている。
- ・情報教育についての授業を実施している。その中でスマートフォン・携帯電話の使用に関する学習を通して情報モラルについて理解を深めている。
- ・まなびんぐサポート事業を活用し、1年生の希望者に対して放課後学習を実施している。
- ・相互授業参観が盛んにおこなわれ、教員同士の交流が活発化するように、教員それぞれのおすすめ授業の「授業広告」をつくり、職員室に掲示している。
- ・教員同士の交流が活発化するように、印刷室に普段の授業の様子や、各学級の通信を掲示している。
- ・市内統一アンケートの結果を分析・検証し、指導につなげている。
- ・新池中学校区の小学校とも連携し、小中一貫教育の実現に向けて取り組んでいる。また小中合同でのビブリオバトルを開催する。
- ・学期ごとに生活アンケートを実施し、生徒ひとりひとりの教育相談も行うことで、生徒の状況把握に努めている。
- ・4月に生徒指導に関しての校内研修を実施し、全職員が同じ方向をむいて指導できる環境や体制を構築している。

◎これからの取組

- ・12月に「学力向上委員会」主催の校内研修を行う。この研修では「全員参加」を柱として生徒主体の授業づくりについて全教職員で考えていく。
- ・2回目のQUを11月に実施し、生徒の状況がどのように変化したのかを校内研修で分析・検証し、生徒一人一人の状況や学級の状況を的確に把握することにより生徒理解を深めながら、より適切な指導や対応につなげていく。
- ・生徒授業アンケートの実施と結果分析を行う。
- ・オープンスクールを設け、地域に学校を開く。